

保護者の皆様へ 附属特別支援学校長だより

NO. 9 保護者向け
令和2年 1月10日
発行：附属特別支援学校
校長 須田 正信

2020年 令和2年 新年おめでとうございます



■元日初詣で、「よい年となりますように」と願をかけました。おみくじは、昨年同様「小吉」でした。

保護者の皆様、新年あけましておめでとございます。年頭に当たりの校長からも謹んでお祝いを申し上げます。さて、学校は8日に始業式を行いました。冬休みを経て新学期を迎え、再び元気な子どもたちの姿を拝見することに喜びを感じます。始業式では、小・中・高等部の代表から冬休み中の話題提供がありました。それぞれ有意義な冬休みを送られたようです。三期は寒さが厳しい季節です。流行性感冒に気を付けて過ごしたいものです。さて、保護者の皆さんは新年をどのように迎えましたでしょうか。令和2年の子年です。十二支も一番目の子年になります。世界や社会情勢は不安感が否めませんが、今年もよい年でありますよう祈念いたしています。



■小学部代表の児童と先生でマイクに向かって発表しました。



■高等部代表生徒から宝塚に行った事を報告してくれました。



■中学部代表生徒から冬休みの思い出を発表してくれました。

校長からの挨拶をしました。
「朝から大雨でしたが、皆さんが登校する際は、喜連瓜破地域は雨も上がり良かったですね。今日から3学期ですが、冬休み中は元気に過ごしてしましたか？高等部3年生は、学校生活も3カ月となります。有意義に過ごしてください。3学期まだ寒い日が続きますが健康に留意して過ごしましょう。」

